

青梅市社会教育委員会会議1月定例会会議録

令和2年1月21日
201 会議室
出席者 委員 10名
(欠席者 委員 0名)
事務局 2名

1 開 会

【議長】本日もよろしくお願ひしたい。

2 報告事項

(1) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会
について (報告資料1)

ア 日 時 令和元年12月14日(土)午後1時30分～
イ 場 所 三鷹市公会堂光のホール
ウ 内 容 各ブロック研修会実施報告・講演
エ 出席者 宮野議長、金子委員、市川委員、横手委員
随行 事務局土屋、田中、田畑

【事務局】事務局から概要説明。

【議長】三鷹市の会長に講師の選定理由を聞いた。研修会は一般市民にも参加してほしいので、幅広いジャンルから選んだ。講師が地域で社会教育的な活動をされている方であったとのこと。大変楽しく、良い交流大会だった。

【委員】これから青梅市がやっていかなければならないのだなという視点で参加した。とても参考になった。研修会の内容は能の勉強もあったが、講師が地域に根差してやっている方だったので、話もよく入ってきた。場所を変えて懇親会も参加した。他のブロックの方と話せてよかった。

【委員】各ブロックの報告、調布市では、市民参加の演劇の上演を行い一般市民も半分くらい参加していたとのこと。研修会では能を分かりやすく学べた。懇親会は思ったより参加者少なかったが、割合としてはこんなものなのかなと思った。

【委員】各ブロックの報告はいずれも興味深く、時間が短く感じられた。研修会では、能のような伝統芸能は、家で代々受け継いでいくが、このことに抵抗なかったのかという質問があった。伝統文化を受け継ぐ家の重みを小さなころから有無を言わず、その環境で育てられてきたとのことだった。複雑なところはあるのだろうなと思いながら聞いていた。実践している方の重みは感じた。懇親会では、名刺交換した方からすぐ連絡きた。今後もつながっていけたらよいと思った。

(2) 令和元年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4回役員会、令和3年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会実行委員会第3回実行委員会の開催について (報告資料2)

ア 日 時 令和2年1月21日(火) 午後1時30分～

イ 場 所 三鷹市公会堂さんさん館

ウ 参加者 宮野議長、随員 土屋

【事務局】事務局から概要説明。実行委員会にて、大会スローガン決定。

「明日に向け 学びの輪を広げよう！」

～地域の魅力 グローバル社会で再発見～

役員会にて青梅市の提案した来年度の統一テーマ、事業計画、役員、予算それぞれの案が承認された。次回理事会に改めて図り、最終的に定期総会で承認されて決定となる。令和2年度の実行委員会は委員長青梅市、副委員長府中市、昭島市となることに決定。その後の委託業者選考会にて、委託業者が東武トップツアーズ株式会社に決定された。

【議長】東京らしさ、東京から、など東京を押しすぎると地方から引かれてしまう恐れがある。地域と多摩らしさ。グローバルというカタカナ文字を使ったら東京っぽさが出るかななど様々な意見が出た。地域の豊かさが多摩の魅力。多摩の地域の魅力を2020以降で再発見したらというところで1時間ほど議論したが収まった。分科会はいろいろなキーワードが出たので、それを元に5つの分科会を設定し、講師等選定しては。パンフレットの図案整理など来年度もいろいろあるので皆様に協力願いたい。

(3) 令和2年青梅市成人式について

(報告資料3)

【事務局】事務局から出席の御礼

【委員】ビデオメッセージとてもよかった。成人はみな喜んだのでは。

【委員】当事者含めた手作り感が青梅らしさ出ていたのでは。粛々とした中にビデオレターなど入っていてよかった。祝ってもらう人が司会をやるのはかわいそうかなと思った。去年の成人など祝われる立場じゃない人のほうが良いのではと思った。

【委員】今年は中も外もよかったと思う。ビデオレターとても盛り上がった。式が始まる直前でも外にいる人、終わっても残る人がいて大変だったのでは。

【委員】この成人式とは別ですが、知的障がい者施設の成人式に20年近くかかわっている。親も来ず、本人も着物着ているが、なんで着ているかわかっていない。そんな成人式もある。

【委員】今年は、のぼりや一升瓶を見なかった。タイムカプセル、ビデオレター場面、場面で歓声が上がっていてよかった。

【委員】全体的におとなしいと思ったが、だれかしゃべっているときは私語や立ちあがって歩くなど、1,000人いればしょうがないのかもしれないが、どうしてかなと思う。

【委員】ビデオレター良かった。同じ成人がスピーチしている中、人の前を

横切るような方がいて、もう少し気を使えないものなのかと思った。

【委員】4年前まで青少年委員をやっていて、毎年成人式に出ていた。そのころから比べると格段におとなしくなっている。舞台に上がったりがないだけですごい進歩だと思う。ただ、市長が話しているときに立ち上がったとかはどうかなと思った。だんだん良くなっていくのではと思っている。

【委員】天気に恵まれ穏やかで、館内の雰囲気も穏やかでいい成人式だった。誓いの言葉のライフセーバーの田中さんの映像を通して競技を知ることができ、そういう方を選出したアイデアもよかった。ビデオレターも心温まる瞬間だった。知ってる先生が出ると歓声が上がっていい雰囲気だった。

【議長】今年は女性がショールを皆取っていてえらいなと思った。二十歳の人で目的意識をもって頑張る人が青梅にもそれなりにいるんだと思って、世界で活躍する意欲がある人が若い人にいるということは素晴らしいことだなと思った。

【議長】成人年齢が18歳に引き下げられる際の対応はどうなるのか。

【委員】各自治体の判断に任されているようだ。

【議長】成人式はそのまま20歳の時にやったほうが良いのではと思う。

【事務局】18歳となると、飲酒や受験、会場や衣装、着付けなど様々な問題が考えられる。

(4) 小学校入学説明会における家庭教育の啓発について (報告資料4)

【事務局】事務局から概要説明

【委員】社会教育の視点で出していただくのは学校としてとてもありがたい。家庭環境もかなり難しい状況にある。学校から押しつけがましく言うより社会教育からというのが良いと思う。

(5) 生涯学習事業実施予定・結果 (報告資料5)

【事務局】事務局から概要説明。

(6) その他

特になし

3 協議事項

(1) 青梅市社会教育委員会議11月定例会会議録(案)について

(協議資料1)

～承認～

【議長】関東甲信越静大会の協賛金の件で、各市に寄付金のお願いをすることになるかと思うが、都の生涯学習担当が今日の実行委員会に来たので、東京都の名を併記してもらい都内の企業や関係団体に寄付金のお願いをさせてもらいたいとお願いした。これができるればかなりの額が集まると思われる。その分、多摩各市の寄付金集めの負担軽減になる。ぜひ協力をお願いしたいと伝えた。

(2) 令和元年度社会教育委員活動記録作成にかかる原稿の提出について

(協議資料2)

【事務局】事務局から概要説明。

【委員】青梅市には社会教育関係団体に対する補助はないのか。

【事務局】以前はあったが、平成28年度で終了した。

【委員】以前放課後子ども教室の見学に行ったりした。ふれあいセンターの今後を検討する上で見学に行ったこともある。そういったことは活動記録の中ではどの分類になるのか。

【事務局】自主研修に当たる。

【委員】各委員に分かれ、施設を今後どうするかを委員で提案し、自主研修に入れることはできるか。

【事務局】社会教育委員会議で施設を見て意見を出すことは、研修ではなく視察になる。

【議長】文化交流センターができたことで、話す必要のある施設がなくなった。今後は社会教育の新施設という事はあまり考えられないのではないか。

【委員】この会議で発議して、話し合っただけ情報交換をし、その一環で現地視察をする。そして最終的に提言ないし助言を報告書にまとめて教育長に上申する。諮問を受けているわけでもなく、ここの会議の独自性で研究テーマを立てて研究してもよい。むしろ、社会教育委員は研究しなければならない、立案しなければならない責務があるので、どんどん前を出して、青梅市における生涯学習関連施設、社会教育施設の今後のあり方、連携、学校教育と社会教育との流れをどのようにしていくか、いろいろなテーマがある。全部は無理なので、1年かけてテーマを絞り込んで市に集約した意見を提出する。それを採用するかは市側なので、良くするために申し上げるのは一つの方向性であると思う。

(3) 2月定例会について

【事務局】例年議題が少ない事、都市社連協の理事会と日が重なってしまっていること等から休会とすることとしたい。

～休会に決定～

(4) その他

特になし

4 その他

【事務局】その他の配布物について説明。

【委員】1月16日にスポーツ振興審議会があったため出席した。

次回定例会 令和2年3月17日(火)